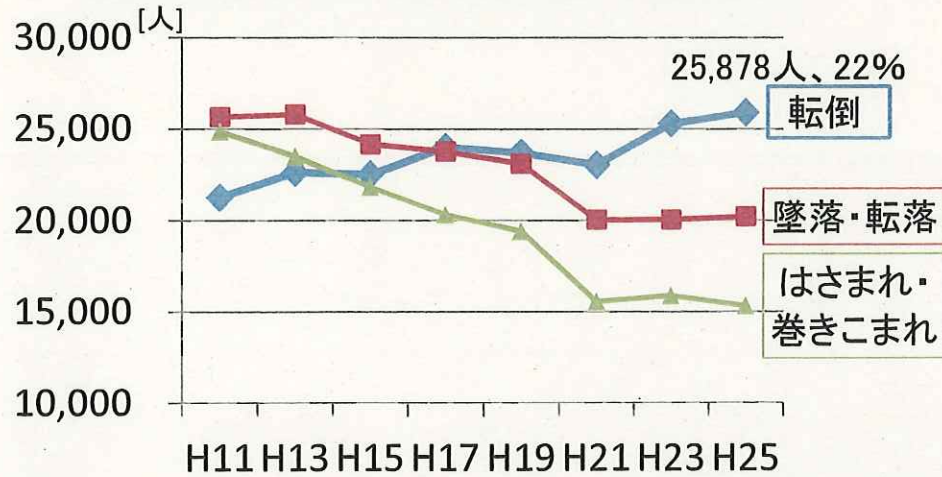


# 転倒災害の発生状況

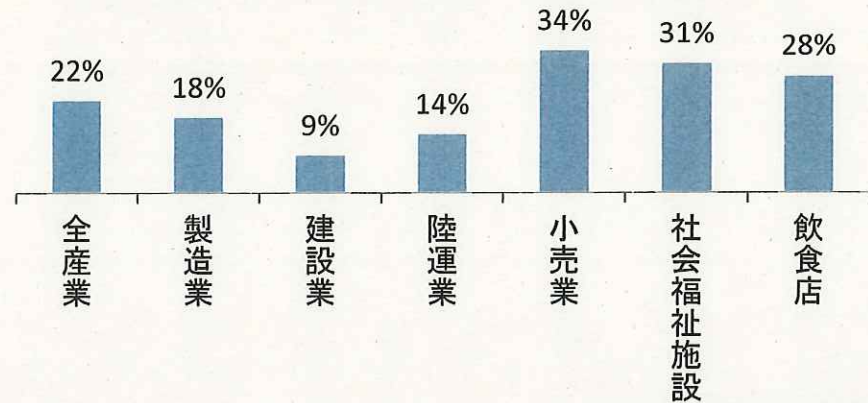
主要な事故の型の中で、転倒災害が増加中



出典: 労働者死傷病報告

転倒災害は、第三次産業で高い割合

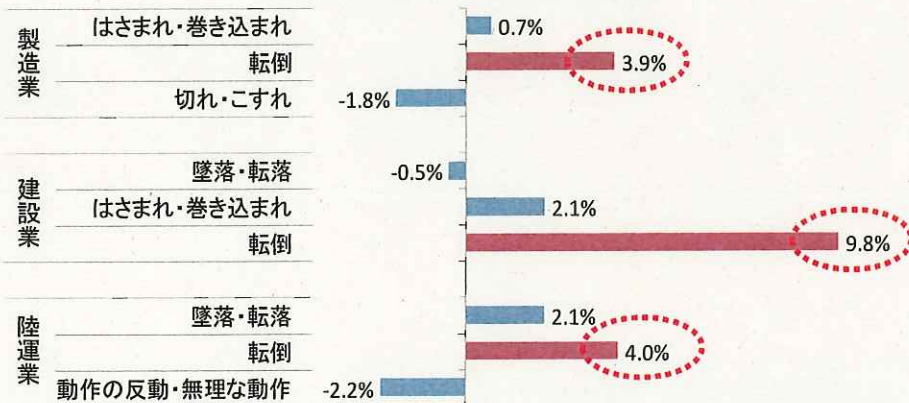
死傷災害のうち、転倒災害が占める割合 (H25)



出典: 労働者死傷病報告

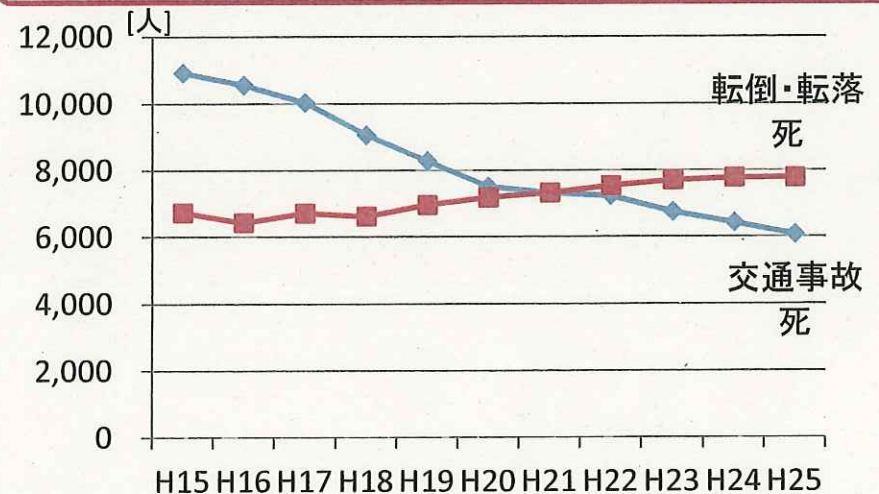
安全衛生活動が活発な業種でも、転倒災害は増加

死傷災害の前年同期からの増減状況  
(平成26年12月末日現在速報値)



出典: 労働者死傷病報告

日常生活でも、転倒・転落災害死は交通事故死より多い



出典: 人口動態統計



# STOP！転倒災害プロジェクト2015

## 趣 旨

転倒災害は休業4日以上<sup>1</sup>の死傷災害の2割以上を占め災害の種類の中では最も件数が多い。特に、高年齢労働者が転倒災害を発生させた場合にその災害の程度が重くなる傾向にある。

今後、労働力人口の高齢化の一層の進行が見込まれることから、事業場における転倒災害防止対策の徹底により、安心して働ける職場環境を実現する。

## 期 間

平成27年1月20日から12月31日まで

(転倒災害が多発する2月と、全国安全週間の準備月間である6月を重点取組期間とする。)

主 唱 者		実 施 者
厚生労働省	労働災害防止団体	各事業場
<b>【実施事項】</b> ① <u>周知啓発資料等</u> の作成、配布 ② <u>STOP！転倒災害特設サイト</u> の開設 (i) 効果的な対策、好事例の紹介( <u>チェックリスト</u> を含む) (ii) <u>保護具等・セミナー</u> の案内 (iii) <u>積雪、凍結期</u> 等の対策 ③ 業界団体等への <u>協力要請</u> ④ <u>チェックリスト</u> を活用した事業場への指導【主に2月、6月】	<b>【実施事項】</b> ① 会員等への <u>周知啓発</u> ② 事業場への <u>指導援助</u> ③ <u>セミナー等</u> の開催、教育支援 ④ <u>テキスト、周知啓発資料</u> 等の提供 ⑤ 保護具等の普及促進	重点取組期間(2月、6月)を中心に、 <u>チェックリスト</u> を活用した <u>職場の総点検</u> を行い、安全委員会等での調査審議等を経て、職場環境を改善する。 <b>【主な転倒防止対策】</b> ① <u>段差・継ぎ目等の解消</u> 、 <u>4S</u> の徹底(床面の <u>油汚れ</u> や <u>水濡れ</u> 、 <u>障害物の除去</u> ) ② <u>照度の確保</u> 、 <u>危険箇所の表示</u> 等の「見える化」の推進 ③ <u>安全な歩き方</u> 、 <u>作業方法</u> の推進 ④ 作業内容に適した <u>保護具</u> の着用の推進 <b>【冬季における転倒災害防止対策】</b> <u>気象情報</u> を活用した <u>リスクの低減</u> 、 <u>危険マップ</u> の作成等

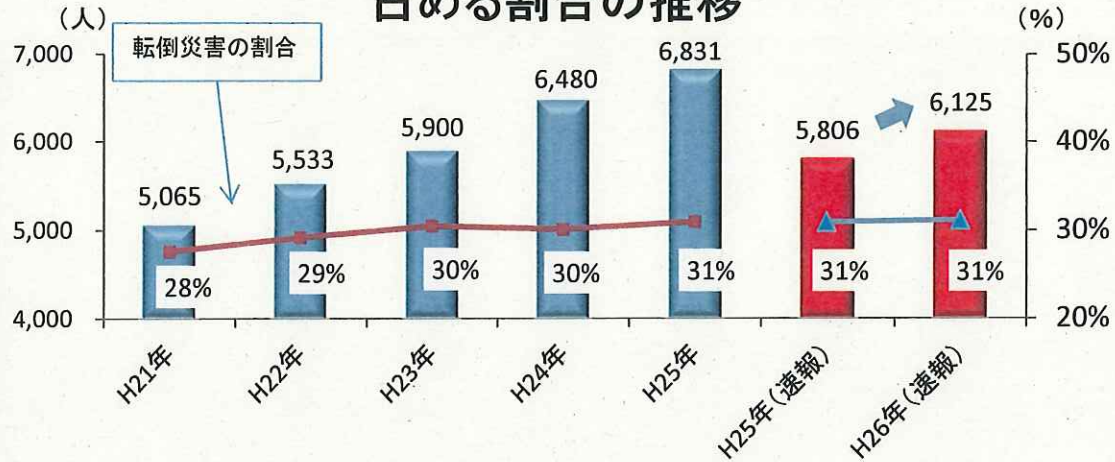


# 社会福祉施設における転倒災害

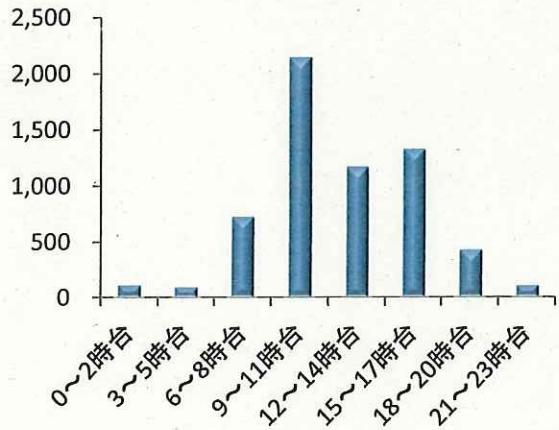
## ポイント

- 社会福祉施設の労働災害は増加傾向。平成26年(速報)は6,125件で前年に比べ5%増加。
- このうち、転倒災害は平成26年(速報)では1,908件で全体の31%を占め、前年同期に比べ6%増加。
- 社会福祉施設における転倒災害の特徴は
  - ・ 9～11時台に多く発生。
  - ・ 50歳以上の災害が約7割を占め、かつ年々増加傾向。
  - ・ 休業見込が1月以上が約6割。

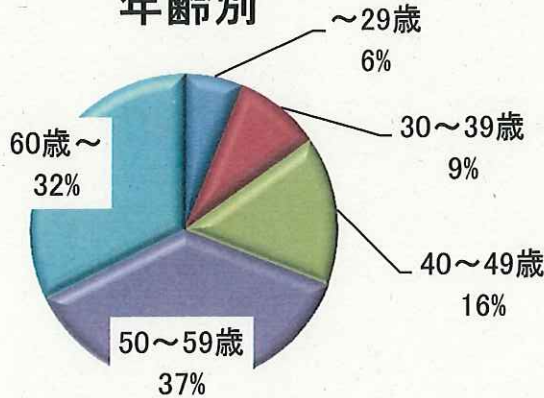
### 休業4日以上災害及び転倒災害の占める割合の推移



### 時間帯別



### 年齢別



### 休業見込別

